

第 103 回歴史探訪の会「高槻城跡とキリシタン大名を学ぶ」

日 時:令和 8 年 1 月 21 日(水曜日)

場 所:大阪府高槻市

案内人:内海春樹

令和8年新春の例会は2名の新入会員を迎え31人の方が参加し、高槻市を巡りました。日本列島にこの冬最強の寒波が到来しましたが全員元気に探訪することが出来ました。高槻は戦国時代、天下を支配する重要な拠点でした。高槻城主高山右近は熱心なキリスト教信者となり、城下に多くのクリスチャン信者を生みました。今回は摂津高槻を巡る権力争いと、キリスト教伝来からキリシタン大名について学びました。

コース:阪急高槻市駅～本行寺～高槻城公園～歴史民俗資料館～高山右近像～野見神社～カトリック高槻教会～新春懇親会(がんこ高槻店)

1. 本行寺(日蓮宗)

奈良時代にこの地の豪族の氏寺として建てられたのが始まりで、度重なる戦で焼失しました。その後 1651 年に、高槻城主の永井直清が平癒祈願をし、見事かなったことから本堂を建立し、それ以来高槻城主の祈願所となり、「病を除く寺」として有名になりました。当日はお寺のご厚意で本堂の中へ入らせて頂き見学ができました。

＜見所＞ ・山門(元高槻城の門)・大黒殿(大黒天、稲荷神、弁財天)・鐘楼
・本堂の額「唱導殿」は 10 代藩主の子 永井直寛(なおひろ)の書です



本行寺(左側が本堂)



本堂の額

2. 高槻城公園芸術文化劇場 (外観見学)

高槻城二の丸跡に2023年建設された最新の劇場で、堀や石垣、城下町の格子戸を意図した設計となっている。近日中にこの会場で「朝日杯将棋オープン戦」の準決勝で藤井聡太名人が対局する予定です。



3. 高槻城公園

旧高槻城三の丸跡を中心とする地区に作られた公園です。公園内には高山右近像や城下町の商家を復元した歴史民俗資料館などが見られます。

高槻市立歴史民俗資料館

江戸時代中頃、高槻城下の紺屋町に建てられていた商家を移築・復元したものです。建物は、市の有形文化財に指定されています。現在は、昔の生活道具や農具などを展示する資料館として活用されています。



歴史民俗資料館の展示

4. 戦国時代 摂津高槻地域における勢力関係についての解説

室町時代の末期、足利幕府の力は衰え戦国時代に向かいます。

(将軍)足利義輝 — (管領)細川晴元 — 三好長慶 — 松永久秀 — 高山飛騨守と右近親子
ここ摂津地域は、足利将軍の管領として細川家が高槻に築いた芥川城に居を構えていました。

その後家臣の三好長慶が京から將軍を、芥川城から細川家を追放し下剋上による天下人(当時の畿内)となりました。奪い取った芥川城で、松永久秀に代表される長慶の重臣や奉行らが常住し、天下の政治が行われました。

永禄 11 年、京都を目指す織田信長は、その前に芥川城から三好一族らを追い出します。そして、芥川城で新たな將軍足利義昭と天下の形勢を見定め、上洛を遂げました。畿内を制するには、芥川城を押さえる必要があると信長も感じていたのでしょう。

5. 高槻城についての解説

高槻に本格的な城が築かれたのは戦国時代のことでした。1568 年織田信長は足利義昭を將軍として擁立し京都周辺地域を治めました。足利義昭の家臣であった和田惟政は高槻に入り本格的な城を築きました。ところが、そのわずか 2 年後惟政は戦死します。新しい城主となった高山右近は、高槻城の周りに城下町を成立させました。城下町には多くの武士や農民、職人らが住み、幅の広い堀で囲まれていました。

1582 年、本能寺の変で明智光秀が織田信長を討つと、羽柴秀吉は高槻に本陣を置いて高山右近を最前線に構えて光秀と戦いこれを破ります。光秀に勝利した秀吉は大坂城を築き天下人となりました。秀吉の死後徳川幕府が開かれるとともに、1617 年に高槻城の大改修を行いました。そして、3 層の天主と高石垣を備えた近世城郭としての高槻城が登場したのです。その後 1649 年、譜代の徳川家臣である永井直清が高槻城主を命じられ以降、幕末まで、13 代にわたって永井家が高槻を治めました。

明治時代になると廃藩置県によって高槻藩は消滅し、1874 年には石垣石を鉄道工事に使用するため、高槻城は取り壊されました。その後、都市化が進んだこともあり、現在、高槻城の姿は地上に見られません。



高槻城公園 高山右近象前で

6. 野見神社

9 世紀末、平安時代中期の宇多天皇の時代(887 年～ 897 年)、この地方に疫病がはやり、神託により牛頭天王(ござてんのう)と須佐之男命を祀ったところ疫病が治まったので社殿を造営し、

牛頭天王社が建立されました。クリスチャンの高山右近が高槻城主となった時、城内にあった当社の社殿を破壊しました。その後、元和 5 年(1619 年)に高槻城主の松平家信が社殿を再建、1868 年(明治元年)野見宿禰命を合祀して「野見神社」に改称されました



7. カトリック高槻教会

キリシタン大名・高山右近ゆかりのカトリック教会で、一隅にはバチカン市国から贈呈された高山右近像が置かれています。また、右近臨終の地であるフィリピン・マニラにある聖母大聖堂を模して建てられた聖堂は高山右近記念聖堂と命名されている。神父さんのご厚意で暖房された礼拝堂に入れて頂きキリスト教伝来にまつわる説明する事が出来ました



礼拝堂での解説

「キリシタン大名」とは 16 世紀半ばに来日したフランシスコザビエルの布教の影響を受けた九州の大名、大村純忠や大友宗麟が最初で、その後各地でカトリック(キリスト教)の教徒となった大名のことです。鉄砲伝来を機に、日本には「西洋文化」が伝来し、キリスト教は織田信長から支持されたものの豊臣秀吉が「バテレン追放令」を發布し、徳川家康が「キリスト教禁止令」を發布したことにより、激しく弾圧され衰退していきました。

有名な人物として、高山右近、小西行長、蒲生氏郷、黒田官兵衛、毛利秀包、織田信秀、明智光秀の娘・細川ガラシャ、伊達政宗の娘・五郎八(いろは)姫など。

8. 高山右近について

高山右近は、人生のほぼすべてを、キリスト教に捧げた戦国武将です。「キリシタン大名」と呼ばれた人物は数多くいますが、家や領地を犠牲にしてまで信仰を貫いた大名は、高山右近ただひとりでした。父飛騨守の洗礼名は「ダリヨ」、右近の洗礼名は「ジュスト」です。

右近の時代、高槻には様々な人々が暮らす城下町が成立したようです。右近は城下町に教会やセミナリオ(神学校)を建て、宣教師らを招きました。この頃、高槻はキリスト教布教の一大拠点となっていました。織田信長からも重用されていた右近でしたが、信長が本能寺の変で倒れると、今度は羽柴(豊臣)秀吉の元で活躍を見せます。右近は秀吉の天下統一に向けての合戦につぎつぎと参加しました。1587 年、秀吉によって突然キリスト教を禁止する「バテレン追放令」が出されました。右近は信仰を捨てず、大名としての地位を失いました。各地を転々とした後、加賀国の前田利家の元で合戦に参加したり城の設計にかかわったりと、活躍を見せます。

やがて、徳川家康により江戸幕府が成立すると、宣教師の追放と信仰の禁止を命じる禁教令が出されました。そして 1614 年、ついに右近は国外追放を命じられ、フィリピンのマニラに旅立ちました。翌年マニラに到着した右近一行は歓迎されますが、右近は間もなく病にかかり亡くなりました。迫害を受けながらも生涯信仰を持ち続けた右近は、400 年の時を経て 2016 年にローマ教皇庁から「福者」として認められました。また、右近が縁で、マニラ市と高槻市は 1979 年に姉妹都市となっており、マニラ市内のディラオ広場には右近像が建てられています。



カトリック高槻教会礼拝堂前にて

予定通り全て学んだ後、がんこ高槻店で新春懇親会を開催、深堀社友会副会長の乾杯の音頭で始まり美味しい料理とお酒で盛り上がり、「難解地名」等のクイズで楽しみました。



深堀社友会副会長の音頭で乾杯

